

『道法會元』における護符のパーツと意味に関する計量分析

Quantitative Analysis of Component Parts of Charms in "Dao-fa Hui-yuan"

学籍番号：201321633

氏名：西郷 智帆

Chiho SAIGO

中国の古典籍は古来より日本に伝えられ影響を与えてきた。現在、これらの古典籍は中国において盛んに電子化されている。本研究で取り上げる『道法會元』も電子化が試みられ、それをもとにした研究が行われてきた。『道法會元』は、様々な宗派が伝えた雷法を含む道教呪術が集成された文献であり、図と文章が複雑な組み合わせにより記されている。宇陀・松本研究室の共同で電子化が行われ、研究利用を目的として検索機能および分析支援機能に関する研究がなされてきた。また、検索精度向上を目的とした用語の統制に関する研究や、護符とそれを構成するパーツの研究が行われてきた。

本研究では、『道法會元』に関する一連の研究をもとに、第一に筆者の卒業研究を発展させた分析、第二にテキストマイニングの手法を用いた分析を行った。第一の分析では、パーツの形状を表すパーツコードのうち「勅」の形状を持つ「sc021302」を取り上げ、そのパーツコードに対し、どのような代表名が対応しているか、『道法會元』の巻においてどのような傾向を示しているかを探った。その結果、勅を下す神には「玉皇上帝」「北極紫微大帝」の二神が多く、また巻 151-155 や巻 166-170 等の特定の巻において、各々異なる主神が代表的な語として出現していることが明らかになった。

第二の分析では、テキストマイニングの手法を用いて、巻とそこに含まれるキーワードから呪術の系統に関する分析を行った。クラスター分析の結果、巻 61-64・巻 80-82・巻 90-96・巻 97-103・巻 114-120 では雷法に関係したキーワードが出現しており、『道法會元』の該当巻における呪術の内容との対応がみられた。また、巻 156-168・巻 171-187・巻 217-218・巻 222-231・巻 257-258・巻 259-268 は「北極紫微大帝」や「天蓬元帥」と関係がみられ、馮らによる分析結果と類似した傾向を示した。

加えて、パーツコードとキーワードの対応についても同様の分析を行った。分析結果から、パーツコードは、キーワードとの対応関係が明確に示される場合とそうでない場合があり、両者の対応を探るためには、パーツコードとそれを示す概念の整理を詳細に行う必要がある。以上の研究結果は、『道法會元』における呪術の系統を研究する際に手掛かりとなると考えられる。

研究指導教員：松本浩一

副研究指導教員：白井哲哉